

防除情報(病虫害情報 号外 第5号)

令和7年7月7日
神奈川県農業技術センター

イネツトムシ(イチモンジセセリ)の防除適期

今年の第2世代幼虫の孵化最盛日は、県平均では平年より「やや早い」(7月16日頃)の予測です。ただし、地域によって予測日が異なりますので、近くの観測地点の予測日を参考にしてください。なお、今後の気象変動によって予測日は変わる可能性があります。

[防除]

防除適期は、粒剤では孵化最盛日の5日前、その他の薬剤では孵化最盛日から5日後程度です。

各観測地点における孵化最盛日の予測は、表のとおりです。薬剤の剤型にあわせて適期に防除を行ってください。

常発地では特に注意し、防除を行うようにしてください。

農薬に関する情報は、令和7年6月23日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

[防除薬剤例]

薬 剤 名	倍率又は散布量(10a)	使用時期及び回数
パダン粒剤4	3～4kg	収穫30日前、6回以内
パダンSG水溶剤	1,500倍	収穫21日前、6回以内
スミチオン乳剤	1,000倍	収穫21日前、2回以内

* 上記薬剤を飼料用米栽培に使用する場合は、次の対策に留意すること。

(1)飼料用米について、出穂以降(ほ場において出穂した個体が初めて確認される時点以降をいう。以下同じ。)に農薬の散布を行う場合には、家畜へは糶摺りをして玄米で給餌すること。

(2)粳米のまま、もしくは粳殻を含めて家畜に給餌する場合は、出穂以降の農薬の散布は控えること。

イチモンジセセリの防除適期予測(2025年)

表1 有効積算温度によるイチモンジセセリ第2世代予測孵化最盛日(2025年 7月7日現在)

地点	2025年予測日 ^{a)}	(平年比)	平年値	観測地点の概要
横浜市中区	7/14	(やや早)	7/19	横浜地方気象台
海老名市中新田	7/15	(やや早)	7/20	アメダス
小田原市扇町	7/15	(早)	7/22	アメダス
藤沢市辻堂	7/17	(やや早)	7/21	アメダス
平塚市上吉沢 ^{b)}	7/16	(並)	7/18	農業技術センター 代表気象観測地点
県平均(5地点平均)	7/16	(やや早)	7/20	

a: 5月5日を越冬世代の蛹化最盛日(平成12年度神奈川県農林水産関係試験成績成果資料)とし、有効積算温度684.94日度に到達した日を予測日とした(江村・内藤 埼玉農試研究報告第43号:36-43(1988))。

b: 2024年に寺田縄から上吉沢に変更。

病虫害防除部 TEL 0463 - 58 - 0333

ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、遵守すべき基準を守り、飛散防止に努めましょう。